



若者が元気と生彩を発信！ 人と繋がる、社会と繋がる為のキッカケ情報誌

げんきのかけら

第1号

2019.6

げんきのかけら第1号！ 「安城青年団」取材させていただきました。



安城青年団 代表 奥田勇次さん

安城青年団ってどんなところ

メンバーはみんな優しく親切で、落ち込んでいた時でもココに来れば元気になる、地域を明るくするボランティア。それが安城青年団です。

年中色々な活動をしているのですが、活動内容は会長が決めるだけではなく、メンバーも提案することが出来ます。そして、欠席しやすい雰囲気なのも魅力です。

どのような活動をしていますか

主に、「ごみ拾いボランティア」や切り絵やハーバリウムなどの「工作ボランティア」時には、バレーボールやソフトボールなどの「スポーツの練習や

大会」なども行います。そして、時には子供の笑顔に癒されます。団員達は活動を通して、仲間や地域の人達とのコミュニケーションを大切にしています。その中で、一つの事をやり遂げた達成感をみんなで感じています。

活動中の失敗談

イベント活動中に行く先々で様々なトラブルが起こり得る事もあります。特に機械や天候、初めて行うイベントに関しては、予想がしにくい為、失敗もあるそうです。

ゴミ拾いのイベントでは、イベント終了後に捨てる場所を決めていないという失敗がありました。ただ、そんな失敗も最後に笑って話せるところが安城青年団の魅力でもあります。工作活動のイベントでは、ラミネーターなどの機械の不具合によって紙がクシャクシャになったりする為、イベントがスムーズに進まない事がありました。又、野外活動中に風によって飛んだり、雨によって濡れたりするなどの失敗が多いようです。ただ、事前のチェックなどを欠かさず行い、子供の笑顔が見

たいという強い思いでイベントを行っています。子供好きパワーが安城青年団の強みなのかも知れません。

様々な失敗があっても、まじめでプラス思考の方が多いので、そんな方が団員として相応しいのではないかと思います。

実際に参加してみても

ゴミ拾いのイベントが1か月に1回程度定期的に行われています。場所は、安城駅付近を中心に参加者と一緒にゴミを拾い、安城市内を綺麗にして行きます。ゴミ拾いと聞いて大変なのかと思う人も多いですが、実際は世間話を(裏面に続く→)



安城駅周辺をゴミ拾いして歩き回る

「げんきのかけらとは」

若者の今によりその居場所や若者の成長を応援する企業を紹介するフリーペーパーです。不定期に編集会議を開き、社会勉強や色々な人との関わりの機会にしたり、一人ひとりができることを増やしてい

うと思います。編集局では、文章を書く人、写真を撮る人、取材に行く人、話を聞く人、しゃべる人などフリーペーパーと一緒に作る仲間を募集しています。お問い合わせお待ちしております。

しながら楽しく参加出来るイメージです。なので、安城市内が綺麗になるだけではなく、楽しくコミュニケーションを取れるところが魅力です。この様に気軽に出来るイベントが多くあり、イベントへの参加から安城青年団に入る方もいます。実際に今回インタビューをさせて頂いた中の2人がイベントへの参加から団員になった方なので、是非参加をお勧めします。

インタビューしてみて

インタビュー中に冗談を言ったり、全体的に明るく楽しい雰囲気になったと思います。こんな雰囲気をもった安城青年団だからこそ様々なイベントを継続的に出来るのではないかと思います。

インタビュー中に「交流、コミュニケーション」という言葉がよく出ていたので、人との繋がりを大切に出来る方を安城青年団も求めています。又、20代前半の若い団員の方も多いため年齢関係なく比較的に入りやすいのかなと思います。会長の奥田さんも親しみやすい方なので、気軽に声をかけてみてはいかがでしょうか。



動画配信中！

QRコードにアクセスするとインタビューの様子が動画で見られます。



安城青年団

活動内容

- ・子供向け工作教室の実施
- ・安城駅前ゴミ拾いの実施
- ・地域青年団との交流 / 支援活動
- ・その他（サンタ宅配便等様々な活動に取組んでいます）

活動場所 主に安城市

活動日 不定期（月に1～2回程度）

参加条件 安城市まで通える方
(安城市民である必要はありません。)

問合せ先
(代表 奥田さん)



編集後記



げんきのかけら第1号！今回は取材に行ってきたみんなにお話を聞いてみました。よろしくお願いします。早速ですが取材に行ってみて大変だったなあってことがありますか？



あります。今回インタビューの様子を撮影していたんだけど、3人の人に話を聞いてたから、しゃべる人にカメラを合わせるタイミングが難しかった。



僕はインタビュアーもしたんですけど、やっぱり緊張しちゃいました。けど、青年団の方が雰囲気をやわらかくしてくれて、いろんな質問ができました。



やっぱり取材は大変だね。逆にこれは上手くいったな！ってのはありますか？



椅子の配置かな。インタビューの撮影のときにどうすれば撮影がスムーズにいかを自分なりに考えてやってみた。それがうまくいったと思う。



もともとは彼がインタビュアーだったんだけど、撮影にかかりきりになっちゃって。だから現場で役割を変えたんですけど、ちゃんとできたかなと思います。



最後に作ってみたいの感想とかあったらお願いします。



取材にいった記事を書く、というのをやったので、今度は写真をやってみたいです。



編集会議でみんなで話し合って改善点を探すのは頭使うし大変だったけど、話しやすい雰囲気できりやすかった。

登場人物



リーダー



インタビュー担当



文章担当

メンバー募集中！

「げんきのかけら」の制作を手伝ってくれるメンバーを募集しています。記事の作成、写真加工などのフリーペーパーの制作に関わることを全般を1から行っています。

詳しくはリネーブルホームページへ

リネーブル

検索



アンケートにご協力下さい

皆様のご意見やご要望を伺い、より良い新聞にしたいと考えていますので、是非、アンケートにご協力をお願いします。

<https://linable.or.jp/paper>



げんきのかけら ■ 気が向いたとき発行（200部）、無料配布

■ 発行元：NPO法人リネーブル・若者セーフティネット
〒446-0071 安城市今池町3丁目5番地2
TEL：090-2349-7663 E-MAIL：linable0728@katch.ne.jp
<https://linable.or.jp>